

第70回 長野県図書館大会

大会テーマ:ICT活用と災害に負けない図書館づくり

ウェブを活用したコミュニケーションの場づくり



2020年10月17日

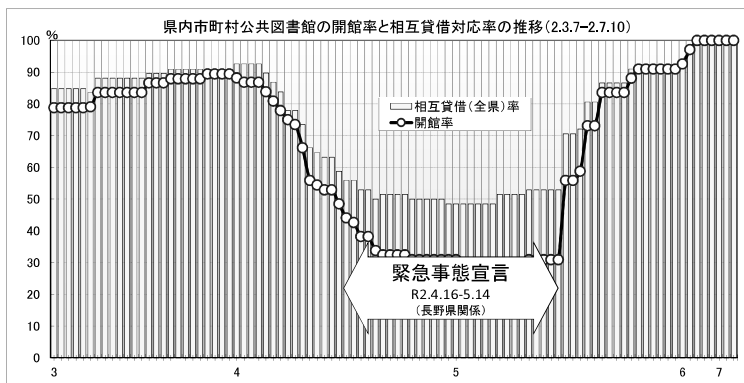
県立長野図書館

館長 森 いづみ

企画協力課 朝倉 久美

参考：コロナ禍による緊急事態宣言前後の状況①

- 県内公共図書館の開館率:30%前後
- 相互貸借(近隣図書館への本の取寄)実施率:50%前後

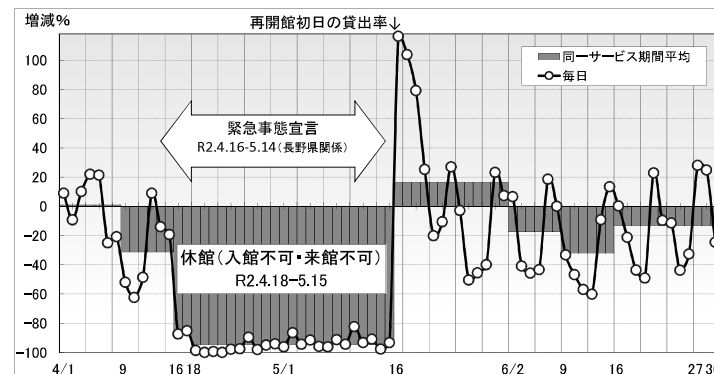


背景：2020年上半期の社会の状況変化と図書館

- 2020年4月～5月(緊急事態宣言→休館)
 - ✓ 全国の休館率:92%
 - ✓ 長野県内公共図書館休館率:約70%、相互貸借実施率:50%
 - ✓ 県立長野図書館貸出率:5%
- 6月(経過観察)
 - ✓ 集合イベント極小規模
- 7月～8月第2波(経済との両立)
 - ✓ 慎重な対策による集合イベント
- 9月～10月の状況(新しい生活様式の定着)
 - ✓ 休館はしない。三密は避ける(席数、食事制限、マスク着用)。
 - ✓ 集合イベントは禁止ではないが、慎重さが必要。
 - ✓ 特殊状況の長期化⇒ニューノーマル

参考：コロナ禍による緊急事態宣言前後の状況②

- 県立長野図書館の休館中の貸出率:95%減(前年同月比)
- 「お取り寄せ」サービス(ネット予約・実費で宅配)実施



背景：2020年上半期の社会の状況変化と図書館

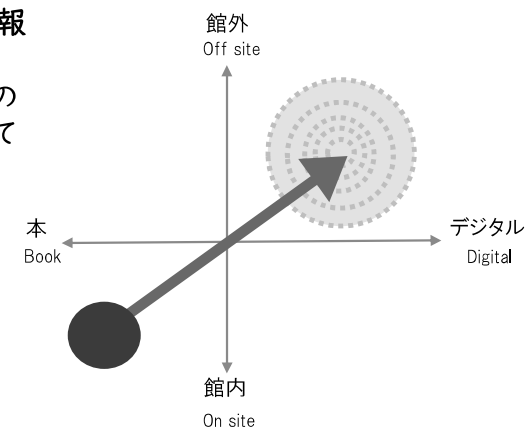
- 2020年4月～5月（緊急事態宣言→休館）
 - ✓ 全国の休館率：92%
 - ✓ 長野県内公共図書館休館率：約70%、相互貸借実施率：50%
 - ✓ 県立長野図書館貸出率：5%（95%減）
- 6月（経過観察）
 - ✓ 集合イベント極小規模
- 7月～8月第2波（経済との両立）
 - ✓ 慎重な対策による集合イベント（8/1～県の基準：定員の半分以上）
 - ✓ 休館はしない。三密は避ける（席数、食事制限、マスク着用）。
- 9月～10月の状況（新しい生活様式の定着）
 - ✓ 特殊状況の日常化⇒ニューノーマル

十分にサービスを届けることができなかった

背景：図書館を取り巻く状況変化→知識基盤社会

- 「知る」・「学ぶ」ための「情報のかたち」が変化してきた
- 「コミュニケーション」のあり方にも変化が起こっている

「知る権利」「学ぶ権利」を保障する選択肢を拡げたい
↓
試してみるチャンス？！



背景：2020年上半期にめざしてきたこと

- 図書館運営でもっとも重視したのは「安心」・「安全」・「安定」
- 3つの「安」を前提とした、「挑戦」
 - ✓ 「資料・情報」を届ける：
 - ・ 「お取り寄せ」貸出サービス
 - ・ メールベースでのレファレンス
 - ・ 「信州ナレッジスクエア」による学びのコンテンツの提供
 - ✓ 「場」を届ける：
 - ・ ウェブを活用したコミュニケーションの場

#図書館は動きつづける

配信元 ↓ 個人接続	配信元 ↓ ↑ 受信会場	配信元 = サテライト
コロナ急性期 集合できない代替措置としてリアルからバーチャルへの転換 4月「公共フォーラム（こっそりごっそり）」本番・そのあとに 5月「ラボカフェ オンライン①」 6月「ラボカフェ オンライン②」	コロナ緩和期 「集まる」と「繋がる」を模索 リアルを取り戻す（立ち返る） 7月「ラボ・デザイン会議」 8月「ラボカフェ もりラボ」 9月「ラボカフェ うなずき珈琲」 10月「公共図書館長研修」	コロナ共存期 主体的選択としてのオンラインリアルとバーチャルの融合 8月「公共フォーラム（一楽荘）」 9月「信州・知の連携フォーラム」 10月「長野県図書館大会」 10月「Re:Publicの逆襲」
▲持続的な図書館活動 “図書館は動き続ける” ▼接続・配信スキルが左右する 特定のターゲットを対象 「来館者のための図書館」	▲集まることの良さを再確認 コミュニケーションの可能性 “ウェブの中のパブリック” ▼多くが“参加者”に留まる 関係性および場の固定化	▲双方向のやりとりによる“参加者”から“場を作る一員”への転換 （主体的、能動的） ▼意識共有と継続システム （モノ・ヒト・コトの整備不足）

ラボカフェ・グランドルール

耳をかたむけよう。

誰かが話をしているとき、自分の音声を「ミュート」にすると、お互いに聞き取りやすくなります。マイクマークをポチッとしましょう。

うなずこう。

遠くの人と話をするのは、やっぱりちょっと不安です。わかりやすいリアクションがあるとうれしいです。拍手機能も使ってみましょう。

小出しにしよう。

画面の向こうにはたくさんの人がいて、それぞれ話したいことを持っています。トークはひとり2分以内を目安に、次の人に回しましょう。

手をのばそう。

知り合い同士も初めましての方も、参加するひとと運営スタッフも、誰もが同じテーブルにつく仲間です。みんなで場を作りましょう。

とどける



うけとる

ラボカフェ オンラインの会 (Zoom画面)



長野県公共図書館長研修 (松川町サテライト会場)



あつまる

信州・知の連携フォーラム
(塩尻会場から見た長野会場)

まじわる



ラボ・デザイン会議
⇄ 遠隔ファシリテーター



公共フォーラム#03
(富士見一楽荘 ㊦
サテライト4会場)

つながる

ひろがる



機器？
技術？

“災害時”
だから？

「だけ」じゃない
「も」ある、へ

ICT活用と災害に負けない図書館づくり

いつ、いかなるときも、情報の拠点となるために。